

すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会（第22回）会議録（概要）

- 1 開催日時 平成27年（2015年）12月7日（月） 10時05分～11時05分
- 2 開催場所 メイシアター 集会室
- 3 出席者名簿 別紙「出席者一覧」のとおり
- 4 配付資料 資料1 持参率の現状について
資料2 平成27年度レジ袋削減・マイバッグ持参促進啓発について
資料3 吹田市におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定

5 議案

- (1) 持参率の現状について
- (2) マイバッグ等持参啓発について
 - ①すいたマイバッグキャンペーンについて（報告）
 - ②北摂地域共通マイバッグキャンペーンについて（報告）
 - ③吹田母子会まつりについて
 - ④すいた環境教育フェスタについて
- (3) 次年度以降の協定について
- (4) その他

6 会議要旨

- (1) 持参率の現状について

【事務局】～資料1に基づき説明～

【会長】今、事務局より説明があった。見てもらったらわかるが、急激な改善はなかなか難しいと思う。この件について意見はないか。意見がないようなので、次の議題に移りたいと思う。

- (2) マイバッグ等持参促進啓発について

- ① すいたマイバッグキャンペーンについて

【市民団体A】～資料2の1ページに基づき報告～

【会長】すいたマイバッグキャンペーンについて報告があったが、この件について質問や意見はないか。併せて、事業者さんからもキャンペーンの展開について何か意見はないか。

【市民団体B】エキスポシティ開業日のキャンペーンに参加したが、お客さんが少なく寒い日でもあった。キャンペーン実施の午後の時間帯が午後4時～5時にな

っているが、これはお店の都合なのか。5時以降のほうがお客さんが多くなると思う。

【事務局】以前、午後6時～7時の時間帯でキャンペーンを実施したことがあったが、お客さんの数が少なかった店舗もあったので、現在の時間に設定させていただき、その中で、各事業者さんにご都合をお伺いしている現状である。

【会長】時間帯について、ご意見があった。時間帯は事務局が決めているということ

【事務局】来年度以降、開催する分については午後5時～6時の時間帯も含めて、各事業所さんにお問い合わせをいただいで実施を検討していく。

【市民団体B】時間帯の件で、事業者さんからのご意見も伺いたい。

【会長】事業者さんどうか。時間帯のことで感じるままのご意見をいただきたい

【事業者A】今回、事務局から時間帯についての声掛けをいただいた。昼時、夕刻の午後4時少し過ぎから5時過ぎくらいまでがお客が多い時間帯である。今回はエキスポシティのオープンが大きく影響したのもあるかもしれない。時間帯は弊社としては、よほどのことがない限り調整できる。

【会長】時間帯については事務局と事業者でまた調整してもらえればと思う。

次に北摂マイバッグキャンペーンについて事務局から報告をお願いする。

②北摂地域共通マイバッグキャンペーンについて

【事務局】～資料2の2ページに基づき報告～

【会長】今、事務局から報告があった。参加された方、意見はないか

【市民団体A】事業者Bさんはすでにレジ袋を有料化されているので、話しかけた人ほとんどの人がマイバッグを持参していたように思う。店舗が広くて、専門店などがたくさんあり、店舗内でティッシュの配布ができた。そのため、たくさんの人に呼び掛けることができた。店員さんにもレジ袋削減の大切さをわかってもらえたような気がした。

【市民団体B】北摂共通ということで、今回は茨木市に行かせてもらったが、ずっと継続してこういう催しをやっていきたいと思う。当日、久しぶりに摂津市の市民団体の方にお会いした。同じ志を持つ人たちとお会いするのもいい機会である。また、違う場所で開催できればいいと思う。

【会長】北摂地域のキャンペーンなので、また事業者さんに御協力いただきながら、続けていけるように事務局も十分に調整してほしいと思う。次に、母子会まつりについて事務局から説明をお願いする

②すいた母子会まつりについて

【事務局】～資料2の3ページに基づき説明～

【会長】母子会まつりの報告があった。市民団体さんにはまたご協力いただくようお願いしたい。この件について、質問はないか。なければ、すいた環境教育フェス

タについて事務局から説明をお願いします。

③すいた環境教育フェスタについて

【事務局】～資料2の3ページに基づき説明～

【会長】来年の2月に開催ということで、事務局から市民団体含め、多く参加してもらうように依頼をしてほしい。この件について質問はないと思うので、次年度以降の協定について事務局から説明をお願いします。

(3) 次年度以降の協定について

【事務局】～資料3に基づき説明～

【会長】前回の協議会で次年度の協定内容について協議させてもらった。

協議内容を形にしたものを本日配布しているので、事業者さんには内容を再度確認いただき、よければ協定書に署名し提出していただきたい。締結式の日程については事業者さん、市民団体さん共に出席してもらいたいのでどちらの日がいいか挙手にて決定したい。4月6日が多くの人が挙手したので、4月6日の金曜日の15時から吹田市役所の特別会議室で行なう。

(4) その他

【会長】事務局からはないか。

【事務局】事務局からは特にないので、よろしければ皆様から一言ずつ頂戴したい。

【会長】事業者の方から、感じているままに意見をいただきたい。注文でも感想でも結構である。

【事業者B】本日の意見で気になったのは、キャンペーンについて、地域によって温度差があるということ。これが一つのポイントだと思う。実際に参加している人が感じている温度差の低いところに対して行なうことも一つの方法であると思う。そこを解決すれば辞退率が改善されるのではないか。やり方はなかなか難しいと思うが、温度差の低い地域を強化してキャンペーンを行なうのも一つの方法ではないかと思う。市民団体の皆さんは本当によく頑張っておられると思う。

【事業者C】先ほどからお話が出ているが、エキスポシティについて、弊社がスーパーとして入っている。このことに関して行政側の見解を聞きたい。このエキスポシティはマイバッグ持参やレジ袋削減の対象店舗になるのか。なぜかというところ、オープンしてからレジ袋を断る人を見ない。地元ではなくて、観光客やサッカー観戦のお客さんがほとんどである。そんな中で、マイバッグ持参や携帯、レジ袋辞退についてのお話をさせていただいてもいいのかというところが、我々事業者として疑問に思うところである。次年度の協定書にもエキスポシティ店が記載されていない。本来であればすでにオープンしているので記載されるはずである。また、ペットボ

トルの回収ボックスも設置されていない。行政側がエキスポシティについては総合レジヤ施設であるというような考えであれば、根本が崩れてしまう。そのあたりを、もう少し、行政の考え方をご回答いただきたい。京都では観光客の多い祇園祭りですえ「ごみゼロ大作戦」ということでごみを無くそうと強い意志を持って努力されているので、それぐらい強い意志を持って行政がプッシュしてくれたらありがたいと思っている。

【会長】 エキスポシティについては設置段階から、連合自治会長の立場として交通問題などで関わってきた。様々なテナントが入っており、統一をはかっていくなかで行政がどう指導していけるかが気になっている。対応していかなければならないと思うがどこまでできるかということもある。事務局どうか。

【事務局】 事業者Cさんがおっしゃっていただいているとおり、総合レジヤ施設ということで、各事業者さんが持っている店舗と性質が異なるので回収ボックスについても環境部として配置しないと以前お答えさせていただいた。レジ袋の件についても同様の考え方であるので検討させていただきたい。

【事業者C】 是非、そうしていただきたい。弊社としても協定を結ぶにあたり、一店舗だけないのかという話になりかねない。前日も言ったが、我々としては、行政側の強い意志を出してくれたら進めやすいのでそこを期待している

【事業者D】 先だって、弊社でもレジ袋削減に関して今後どうするのかという社内会議があった。担当者として今後どうすればいいかと意見を求められたが担当で何かできるというのはなかなか難しい中で、助け舟を出していただいた。そもそも人の物の考え方だということ、非常に時間がかかるものであると思う。そのときどきの数字を見て「上がってないじゃないか」という判断される方もいると思う。我々が子どもの頃は母親が桐籠を持って買い物に行っていた。それが年何年か経って、今に至ってはそういう時代ではない。我々の責任でもあるが、レジ袋をお渡しするという時代になってしまった。時代、考え方によって様変わりする。この運動についても、地道に、お手伝いということでなく我々がしなければならぬことを考えさせていただいて少しでも数字があがるようにしたい。有料化をすれば数字が上がることは目に見えているが、それだけではないのかなど。皆さんの協力が必要なのではないかと考えているので頑張りたいと思う

【事業者E】 レジ袋の辞退率は弊社も50%くらいで止まってしまっているのが現状である。キャンペーンをしていただくにあたって、弊社は火曜日が火曜日としてグループで売っているので、火曜日と日曜日という来客数が多い日に希望を出しており、キャンペーンを行なっていただいている。ありがたく思っている。来年以降も来客数が多い日にキャンペーンをしていただいお客様に知ってもらうことを通じてレジ袋を削減していきたいと思っている。

【事業者F】 弊社としては、京都方式のレジ袋無料配布の中止である程度、進めていきたいと思っている。そのためには、行政と市民団体に積極的に後押しをしていただき、事業者がある程度固まってやっていきたいと思う。オアシス自体も吹田市内に5店舗を有している。その中でも持参率が40数%から上は59%となっているが、いろんなキャンペーンをしてマイバッグを持参している方は一定水準に達しているのではないか。これから、もう一歩先に進んでいく時期になってきたように思う。今後、どんな形で進んでいけるかご検討いただきたい。実際に京都は10月から持参率45%のところは90%になっている。もうひとつは、全体が動いたので大きな反発がなく順調に進んだ。我々もそれを踏まえて、一歩進みたいと思っている。

【事業者A】 先日は寒い中、津雲台でキャンペーンをしていただき、感謝している。弊社も辞退率の伸びが停滞しており、キャンペーンを通じて啓発を頑張っているが、社内でもどういったことをすればいいのか、なかなか新しいことがでてこない状況である。率は店舗によって差があり、50%を超えているところもあれば、30%前後のところもある。今後とも市民団体の力を借りて辞退率を上げられるように頑張っていきたい。

【事業者G】 事業者としては皆さんと同じ意見である。北摂地域全体で取り組みを進めているのは吹田市が中心になって活動を広げているのは素晴らしいことだと思う。今後も、拡大していく方法で提案をお願いしたい。なんでも協力させていただく

【事業者H】 先日のキャンペーンに参加できなくて申し訳なく思っている。4店舗展開しているが、市の平均を下回っており低空飛行である。学生が多くいる地域や来客年齢が若い地域は、まだまだ低い。そのあたりの仕掛けが必要であると思う。数字に甘んじるのではなく、積極的に働きかけて辞退率を上げていきたい。

【市民団体A】 地域の温度差を非常に感じている。事業者Bさんの提案されていたように温度差の低い地域を中心にキャンペーンをしていきたい。もう少し市民団体に参加してほしい。市民が動いていることをお客さんにお伝えするのが大事ではないか。できるだけ減量推進員の方に協力いただけるように市の方から働きかけてほしい

【市民団体A】 地域は差はとても感じている。減量推進員さんがたくさん応援に来られる地域とそうでない地域がある。どうしてなのか。ちゃんと伝わっているのか、ずっとキャンペーンを続けているので気力がなくなっているのか。もう少し協力してほしい

【市民団体C】 なかなかキャンペーンを手伝えてなく心苦しく思っている。来年はできるだけ参加したいと思う。12日の母子会まつりに風呂敷の包み方講座

で協力していただけるということでありがたく思っている。

【市民団体C】 初めて協議会に参加させてもらっている。私たちの娘の年代は袋をもらって当たり前だと思っている。資源が大事であることを学生たち若者に教えていかなければならないと思う。そうでないとなかなか結びつかないと思う

【市民団体D】 この問題が起きたときに、小売店からレジ袋に入れないと商品に傷がつき、返品が多かったり万引きが多いと聞いたことがある。

こういうことに事業者は苦しんでいるのだと思う。勤め帰りの人は色々な工夫をされていると思う。キャンペーンに力を入れなければならない。消費者意識に訴えなければならないと考えている

【市民団体B】 キャンペーンに何回も参加させてもらっているが、もう少し市民団体さんに出てきてほしい。減量推進員さんは年度が変わると変わってしまうが、市民団体さんとは長い付き合いになると思うので是非ともお願いしたい。エキスポシティについては最初が肝心なので、是非、強い姿勢で臨んでもらいたい

【事業者I】 持参率については、ここにいる皆さんに頭の下がる思いである。60%を目標としていることについて我々も頑張っていかなければと改めて思っている。商業団体連合会の事務局もやっているので中小の商店などに呼びかけてマイバッグ推進、レジ袋の削減を呼びかけていきたい。

【市民団体E】 何回かキャンペーンに参加しているが、キャンペーンの方法が案外理解されていない気がする。キャンペーン中に高齢者に「今、何をしているのか」と聞かれることが多い。すいたんが来たり、マイクで呼びかけて周知が出来るのだが、ただティッシュを配るだけでなくこういうことをやっていると説明したりしないといけないと思う。ティッシュを配って、我々だけが満足してしまつたら具合が悪い。こういうところをもう一度考えなければならない。

【会長】 事業者さんは事業者さんの取り組みや問題、市民団体さんはこういう活動をすればどうだとか、やっているけれどももう少し知らせ方を考えてほしいという意見があった。あとは事務局が、今の意見を謙虚に聞いてもらってどうすれば改善できるか考えてほしい。この協議会を立ち上げる当初に、自治会に対して様々な呼びかけをした。単一自治会が600近くあるが、行政から連絡や願いが来ることがある。今、市民団体が言われた協力してほしいことや知らしめないといけないことを知らない人に広報していかなければならないと思う。広報の仕方はとても大事である。商工会議所さんから中小の商店街にも呼びかけていきたいとお話があったが、そのとおりでと思う。会議で話しがあったということだけでは浸透していかないと思う。市民団体さんの申し出はこういったことで協力したいと思う。できるところから進めていきたい。他にないか。事務局からないか。なければ部長から一言いただきたい。

【環境部長】貴重な意見をいただいた。聞きっぱなしにしないようにしたいと思う。
今後について、北摂エリアで協力しながら何ができるのかをしっかりと検討していきたい。

【会長】他になれば、これで終了とする

次回日程：平成28年4月6日（水） 協定締結式後
吹田市役所4階 特別会議室にて